



Vol.9

サークル・サークル

市内で活動、活躍する
団体・サークル・チーム
などを紹介

松尾野球スポーツ少年団

メンバー25人(8月17日現在)
代表者:高橋 秀一さん=中沢=

◎結成何年目ですか？

平成28年4月に結成。今年で2年目です。

◎結成のきっかけは？

団員数が減少したため、松尾地区の寄木柏台スポーツ少年団と松野スポーツ少年団が統合し、新チームとして誕生しました。

◎活動内容は？

松尾地区の3つの小学校から集まって活動しています。今年は新入団員も多く、2年生から6年生まで一緒に楽しく練習や試合に臨んでいます。

野球を通じ、目標に向かって努力することや仲間を思いやることの大切さ、野球ができることへの感謝の気持ちを感じながら活動しています。



もりしんカップ優勝を喜ぶ瞬間
(7月31日、栗石町営野球場)



切さ、野球ができることへの感謝の気持ちを感じながら活動しています。

◎今後の目標は...？

今年は『県大会優勝』という大きな目標を掲げ、2つの大会で県大会へ出場しました。「マクドナルド・トーナメント県予選大会」では、優勝チームに2回戦で1対0と惜敗しましたが、6年生最後の大会となる「第31回県学童軟式野球選手権大会もりしんカップ」では見事優勝することができました。6年生が抜け新チームとなりますが、この経験を生かし、今年以上の成績を目指して活動していきます。

◎活動日・場所

毎週火曜日と木曜日に松尾地区の小・中学校のグラウンドで練習しています。また土曜日、日曜日は練習試合を行ったり、各種大会へ参加したりしています。

■問い合わせ先 代表・高橋秀一(☎090-8929-3872)、監督・佐々木健(☎090-2276-2198)

松尾鉦山では鉄道ならぬ馬鉄軌道が硫黄の運搬になくてはならないもので、馬一頭にトロッコ2台を引かせたり、馬を休ませたりし

た。今 せんが、だいたい40年前までは、農業や運搬のために馬が活躍し、人と共に働き、共に暮らす光景が当たり前のように見られました。

私は、安比高原ブナの駅にある中のまきばで、馬による草原再生の活動に関わっています。馬と言うと競走馬を思い浮かべる人が多いと思いますが、市内に住むご年配の人に尋ねると、馬車や馬橋の楽しい思い出をとても懐かしそうに話されます。



今月の担当
阿部 文子 さん

地域
おこし
協力隊
だより

Vol.40

ている写真も残っています。最近、山から木材を運ぶ作業である馬搬(地駄引きとも呼ばれます)が見直されているのをご存知ですか？機械が入れない所でも、人と馬が道具と技を駆使して、自然の中で働き、山を傷付けず環境や資源を活かせる古くて新しい手法として注目されています。

実は安比高原中のまきばで草をはんでいる馬は、馬搬も出来る馬たちです。「うちの山も馬搬で薪を取ろうかな」「あの木を伐り出したい」というご依頼がありましたらぜひご相談ください。

